

2021.5.17
株式会社ノーリツ

2021年12月期 1Q決算説明資料

証券コード
5943

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

■ 2021年1Q決算概要

■ 2021年12月期における進捗

- ・ 国内事業
- ・ 海外事業

■ 2021年12月期業績予想の修正

■ 株主還元方針

■ 参考資料（Q+ESGに基づいた事業活動）

2021年1Q連結決算 財務・業績概況 資料

21年1Q決算概要

2021年1Q 決算概要

■ 国内事業⇒減収増益

- 高付加価値商品の拡販が温水空調分野の増収を牽引
- 前期の住設システム分野撤退により減収も、大幅増益

■ 海外事業⇒増収増益

- 全エリアで増収増益を達成
- 需要回復の中、ガス瞬間式給湯器の拡販が計画以上に伸長

■ 当期純利益⇒105億円の改善で黒字に転換

- 構造改革による継続的な固定費低減と変動費比率改善で、収益体質強化継続
- 投資有価証券売却益24億円を特別利益に計上

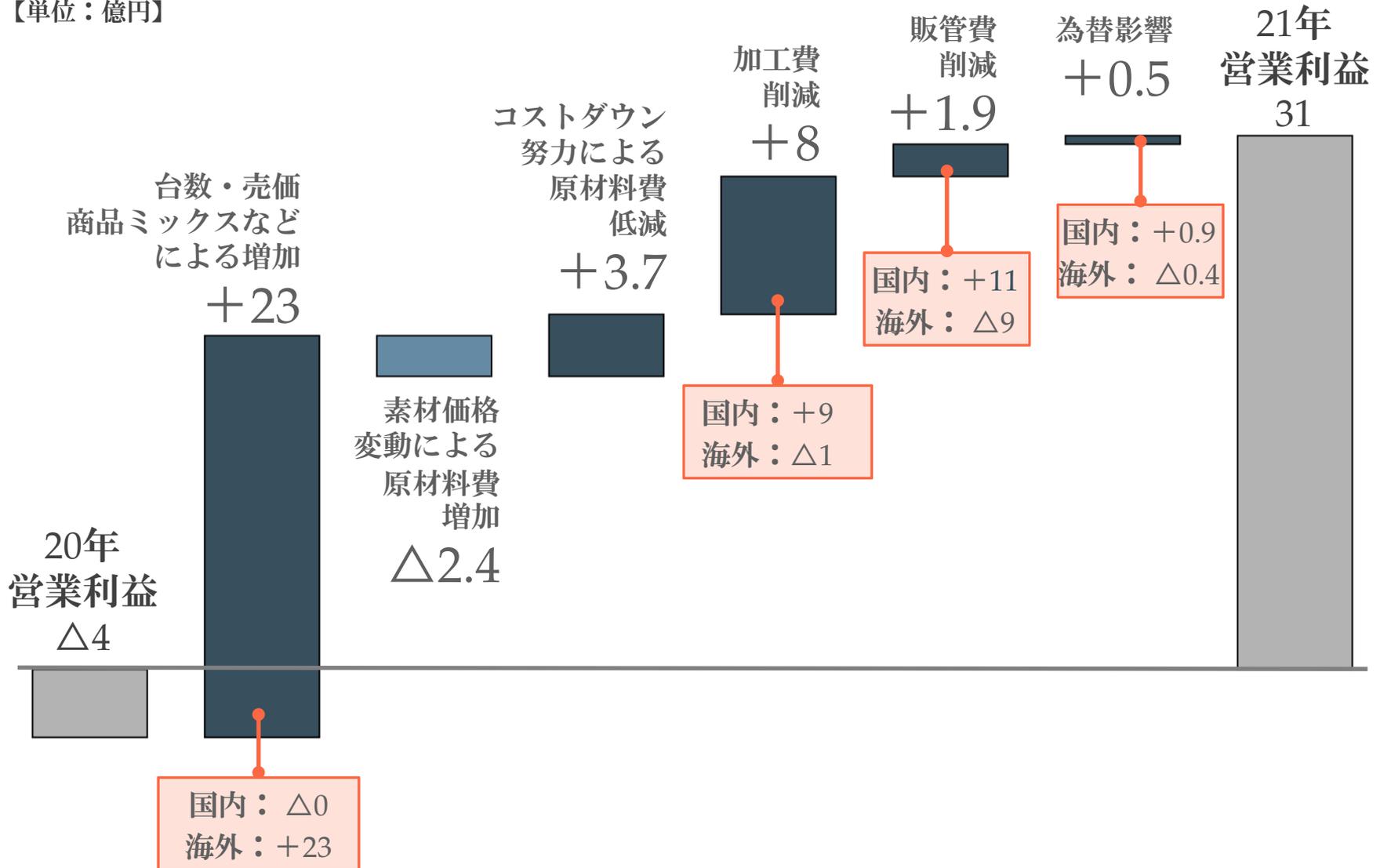
経営成績

(単位：億円)	2019年1Q	2020年1Q	2021年1Q	前年増減
売上高	508	446	491	44
国内事業	368	358	354	△3
海外事業	139	88	136	48
営業利益	7	△4	31	35
国内事業	5	6	28	22
海外事業	1	△10	2	13
経常利益	7	△2	34	37
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	△64	40	105

平均為替レート、1ドル=107.15円、1元=16.46円、1ASドル=82.55円 ※数値は外部取引額

営業利益増減要因

【単位：億円】



2021年1Q連結決算 財務・業績概況 資料

2021年12月期における進捗 国内事業

国内事業 分野別業績



業績（億円）	2019年1Q	2020年1Q	2021年1Q	前年増減
売上高	368	358	354	△ 3
温水空調	280	280	295	14
厨房	47	43	43	△ 0
その他	11	10	15	4
住設システム	28	22	—	△ 22
営業利益	5	6	28	22

*2020年12月期に住設システム分野撤退

国内事業 施策と課題

■新中期経営計画「Vプラン23」における国内事業の取り組み

対処すべき施策	取り組む課題
高収益体質へ進化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高付加価値商品の拡販 ➤ 取替による販売モデル構築 ➤ 非住宅分野の販売モデル構築 ➤ 原価改善

■海外事業の取り組み

対処すべき施策	取り組む課題
持続的成長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中国：成長に向けた施策推進 ➤ 北米：3社活用による温水事業の拡大 ➤ 豪州：業用分野の拡大 ➤ 新規エリア：東南アジア(ベトナム)への参入

国内事業 課題と進捗



高付加価値商品の拡販

社会課題対応（衛生ニーズの高まり）

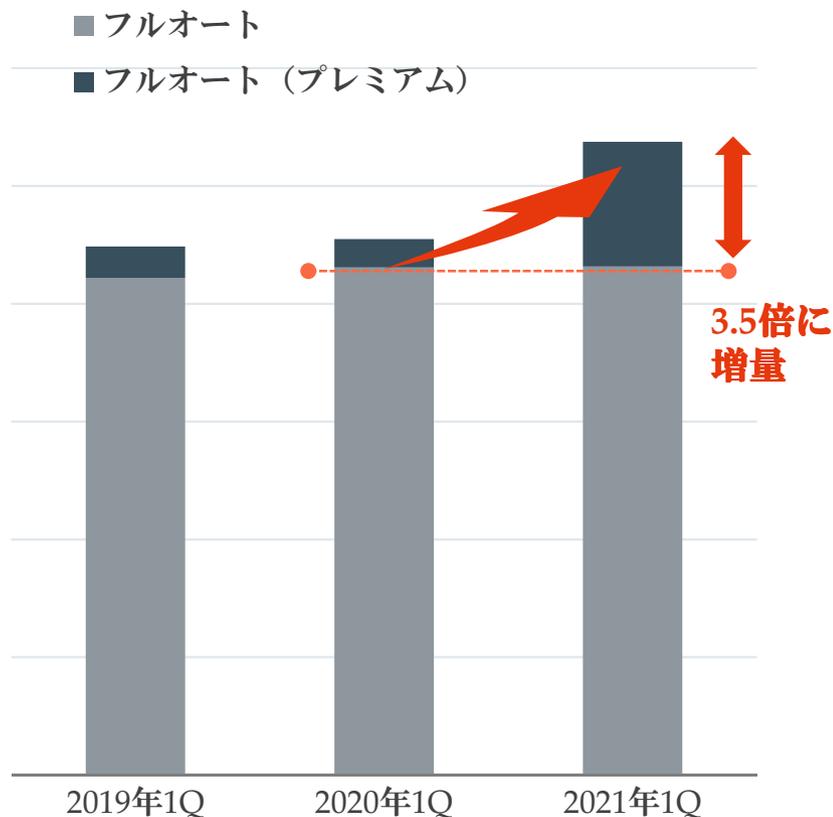
UV除菌機能付プレミアム給湯器の
ラインナップ強化



テレビCM開始



＜ガスふろ給湯器の販売台数＞



高付加価値商品の拡販

環境課題対応

ハイブリッド給湯器
ラインナップ強化
(戸建住宅用・集合住宅用)



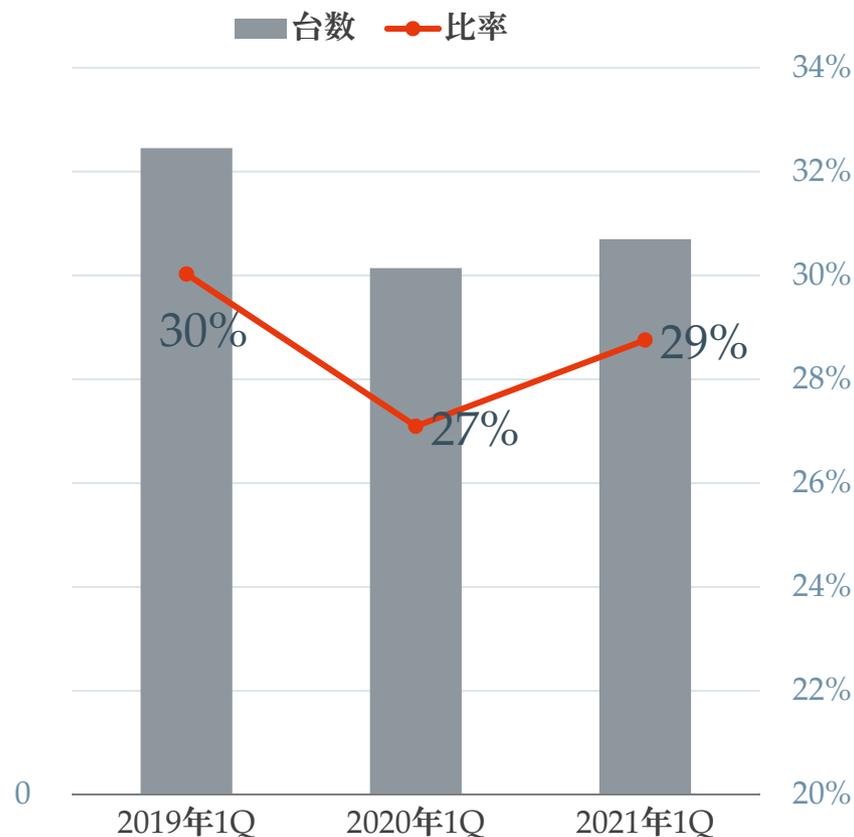
集合住宅用ハイブリッド給湯器

社会課題対応 (共働き世帯の増加)

ラク家事を実現する
マルチグリル搭載コンロの販売活動強化



<ビルトインコンロの中高級品 販売推移>



国内事業 課題と進捗



取替による販売モデル構築

新たな接点機会の創出によりお客さまとつながる事業モデルを確立する



「点検」+「適切な時期での取替」推進で
安全・安心の価値提供

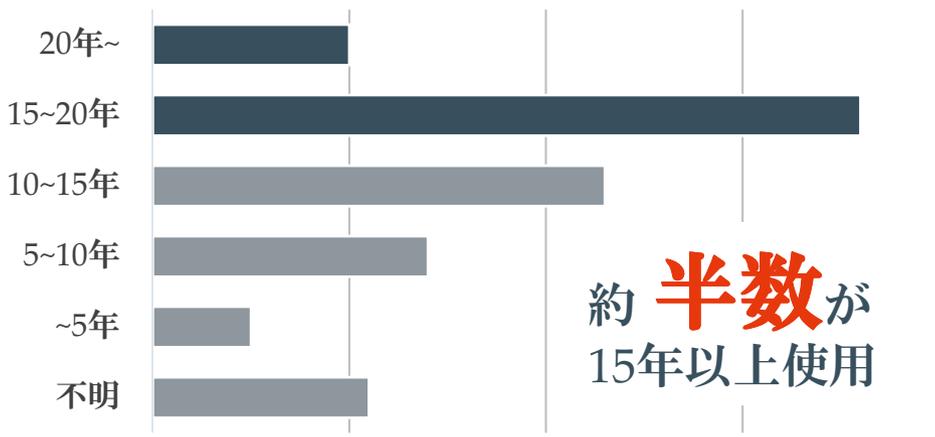
給湯器のほぼ全ての機種に
「点検お知らせ機能」を搭載



リモコンに
「88」または「888」
を点滅してお知らせ

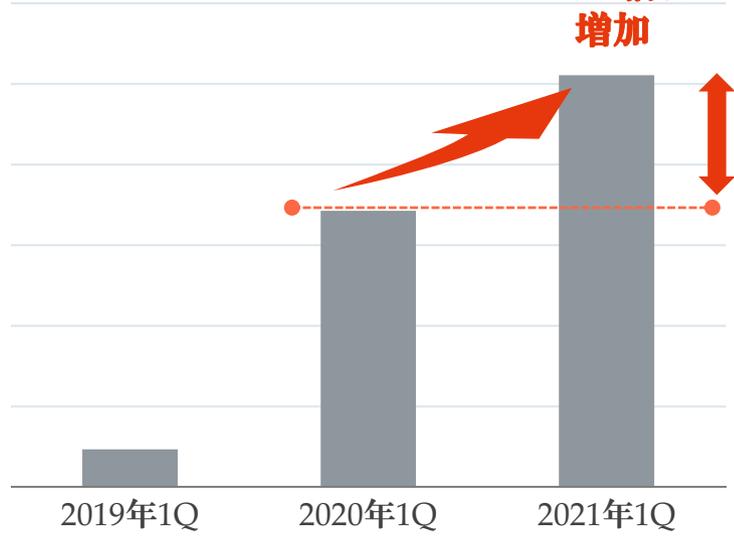
点検時期をリモコンの表示でお知らせ

＜給湯器取替までの使用年数＞



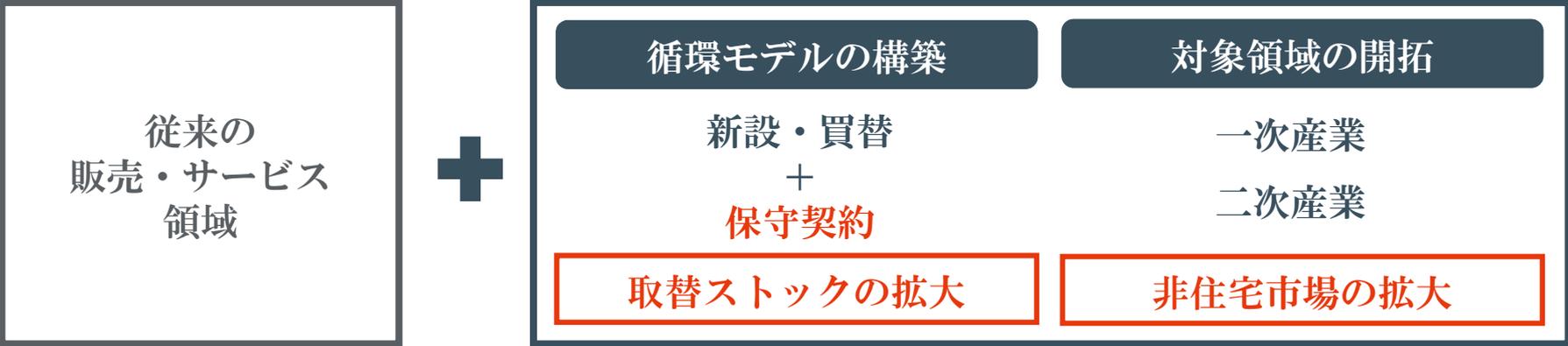
※クラブノーリツ会員向けWEBアンケートより (2019年実施/n=440)

＜点検件数の推移＞



非住宅分野の販売モデル構築

施設・オーナーとつながる 事業モデルに変革



- 公式サイトに専用ページ開設
ユーザー登録開始
- 業務提携の進行



2021年1Q連結決算 財務・業績概況 資料

2021年12月期における進捗 海外事業

海外事業 エリア別業績



(億円)		2019年1Q	2020年1Q	2021年1Q	前年増減
中国	売上高	88	40	80	40
	営業利益	3	△10	1	11
北米	売上高	31	31	35	4
	営業利益	0.4	△0.2	0.9	1
豪州	売上高	14	13	17	3
	営業利益	0.1	0.3	1	0.7
その他	売上高	4	3	3	0
	営業利益	△2	△0.8	△1	0.5
計	売上高	139	88	136	48
	営業利益	1	△10	2	13

海外事業 施策と課題

■ 国内事業の取り組み

対処すべき施策	取り組む課題
高収益体質へ進化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高付加価値商品の拡販 ➤ 取替による販売モデルの構築 ➤ 非住宅分野の販売モデル構築 ➤ 原価改善

■ 新中期経営計画「Vプラン23」における海外事業の取り組み

対処すべき施策	取り組む課題
持続的成長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 中国：成長に向けた施策推進 ➤ 北米：3社活用による温水事業の拡大 ➤ 豪州：業用分野の拡大 ➤ 新規エリア：東南アジア(ベトナム)への参入

中国エリア：成長に向けた施策推進



外資高級ブランド

新シリーズのバリエーション展開

暖房・業用分野の強化
(新製品積極投入とバリエーション展開)



櫻花中国



Local中高級ブランド

ネット比率の拡大

代理店を活用した新規顧客獲得

グローバル生産拠点としての活用強化 (QCDの質の維持/向上)

スリム化された経営体質を維持→収益拡大

- 市場は20年の落ち込みから回復基調、特に、ネットチャネルの需要が拡大
- 能率中国・櫻花中国ともに、ガス瞬間式給湯器の販売が好調
特に、能率中国での新製品（前期投入）拡販が順調に推移

北米エリア：3社活用による温水事業の拡大



暖房

コンデensingボイラー充実
(高効率・環境対応)



業 用

業用温水機器の販売・施工
保守契約の充実

瞬間式給湯器

大手管材卸との協業強化
(2020年～採用拡大)



施 工

リテール展開

施工力の活用

- 景気の回復や寒波影響もあり、給湯器・ボイラー需要は増加
- ガス瞬間式給湯器の販売が好調
- 大手管材卸との協業強化の進展

豪州エリア：電気&ガス給湯器を持つ強みを生かした拡販と業用分野の拡大



家庭用

電気

ガス

業用

- 市況は堅調で、家庭用・業務用機器ともに販売好調
- 市場ニーズに対応する幅広いラインナップを強みに業績を拡大

2021年1Q連結決算 財務・業績概況 資料

21年12月期 業績予想の修正

業績予想の修正の概要

■ 国内事業

- 1Q高付加価値商品拡販成果の継続を見込み、2Q計画に反映（下期需要想定は据置）
- 素材価格の高騰を踏まえ、売上原価の悪化を反映

■ 海外事業

- 中国エリアを中心とした増収が継続することによる増益計画を反映
- 為替の想定レートを変更

■ 特別利益計上

- 固定資産売却益16億円を下期に計上

業績予想の修正

(億円)	2021年2Q累計 (予)		2021年通期 (予)	
	当初	修正	当初	修正
売上高	820	900	1,800	1,910
国内事業	590	630	1,280	1,320
海外事業	230	270	520	590
営業利益	10	30	50	64
国内事業	10	25	45	49
海外事業	0	5	5	15
経常利益	13	34	55	72
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	40	58	76
ROE (%)	—	—	5.4%	6.9%

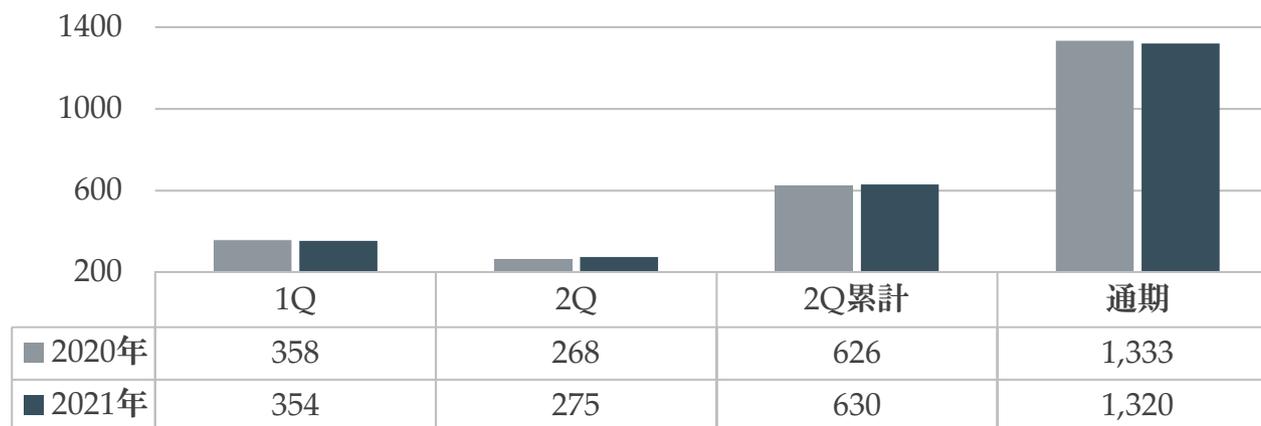
平均為替レート1ドル=108.98円、1元=16.87円、1ASドル=84.81円 ※数値は外部取引額

国内事業 業績予想の修正（対前年）



売上高

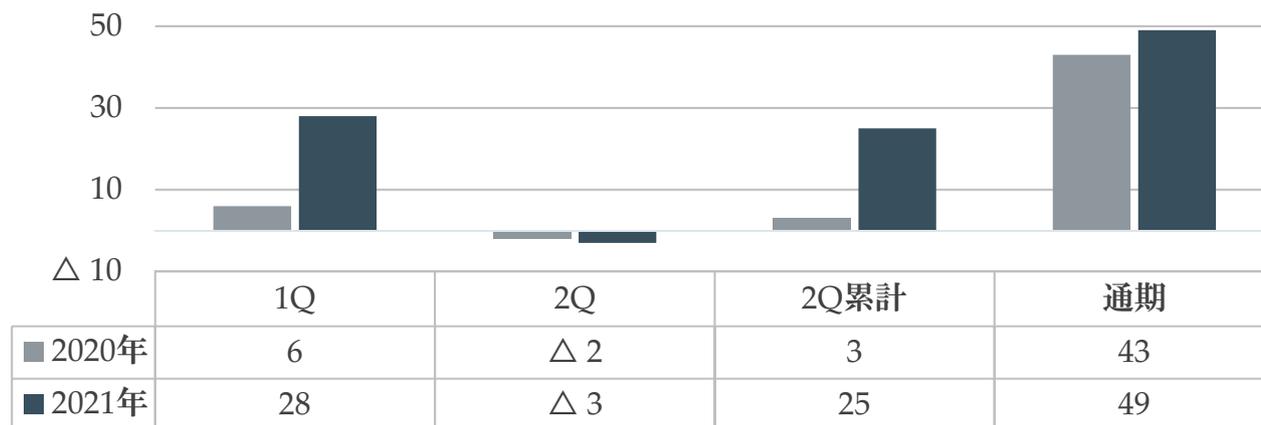
(億円)



* 2021年2Q、2Q累計、通期は修正予想値。2020年12月期に住設システム分野撤退

営業利益

(億円)



* 2021年2Q、2Q累計、通期は修正予想値。2020年12月期に住設システム分野撤退

国内事業 業績予想の修正（分野別）



■ 国内事業 分野別

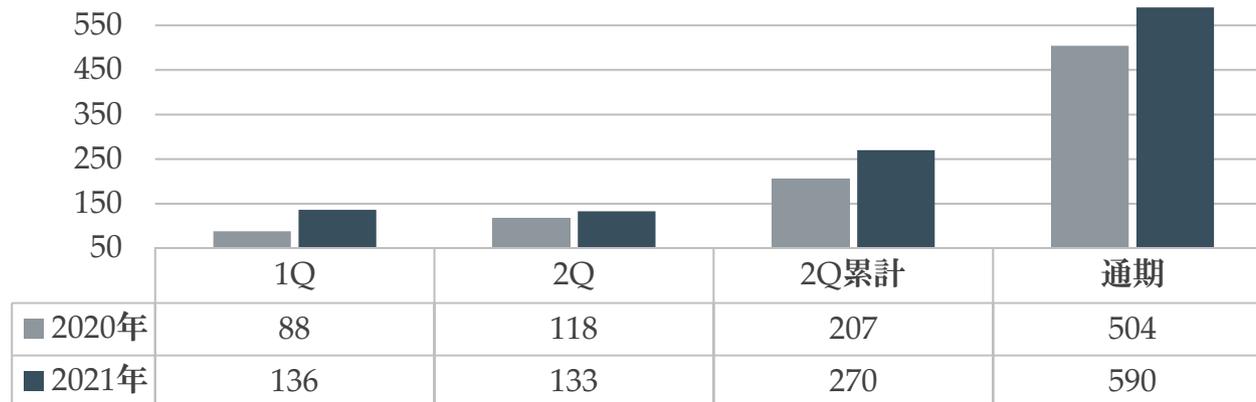
(億円)	2021年2Q累計（予）		2021年通期（予）	
	当初	修正	当初	修正
売上高	590	630	1,280	1,320
温水空調	480	520	1,040	1,080
厨房	80	80	180	180
その他	30	30	60	60
営業利益	10	25	45	49

海外事業 業績予想の修正（対前年）



売上高

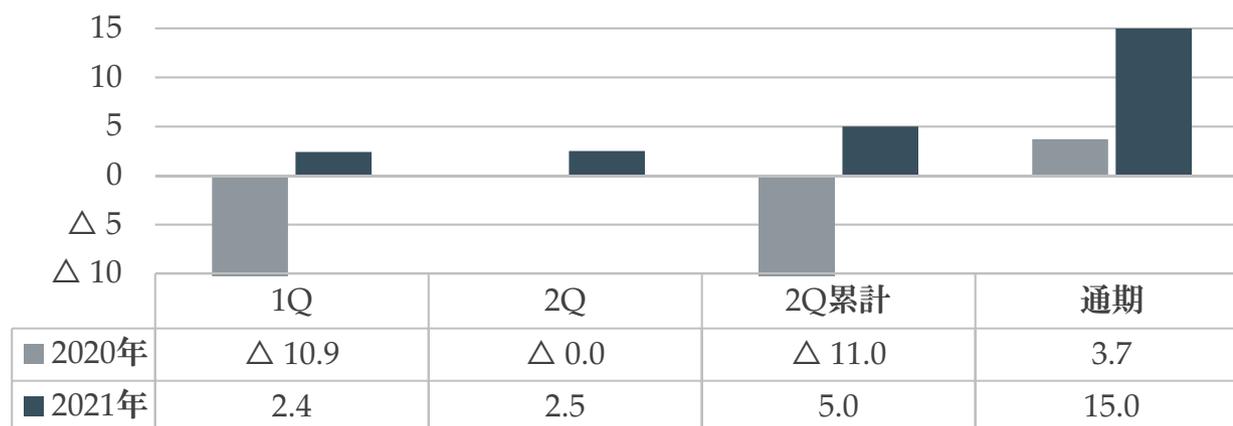
(億円)



*2021年2Q、2Q累計、通期は修正予想値。

営業利益

(億円)



*2021年2Q、2Q累計、通期は修正予想値。

海外事業 業績予想の修正 (エリア別)



■ 海外事業 エリア別業績

(億円)		2021年2Q累計 (予)		2021年通期 (予)	
		当初	修正	当初	修正
中国	売上高	140	166	316	376
	営業利益	2	2	1	9
北米	売上高	50	61	125	132
	営業利益	0	0	1	3
豪州	売上高	33	35	64	66
	営業利益	1	1	2	2
その他	売上高	7	6	14	13
	営業利益	△ 3	2	△ 0	0
計	売上高	230	270	520	590
	営業利益	0	5	5	15

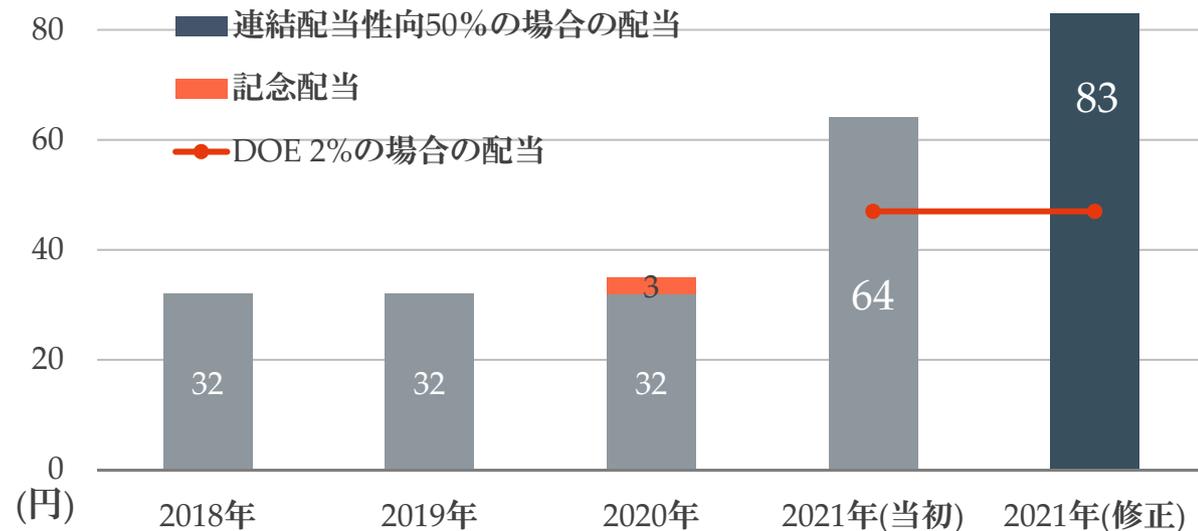
2021年1Q連結決算 財務・業績概況 資料

株主還元方針

株主還元方針

配当方針

- 2021～2023年度：業績連動に安定性を加味した株主還元「連結配当性向50%」または「DOE2%」のいずれか高い方を選択
- 2021年12月期配当予想を64円から83円に上方修正



自己株式

- 機動的な取得の実施を検討
- 消却（2023年末時点の残高を発行済株式総数の5%程度まで消却）

〈参考資料〉

Q(品質)+ESG に基づいた事業活動

～ノーリツが大切にしている将来財務～



Q+ESGに基づいた事業活動



Quality

製品安全の推進

「点検お知らせ機能」による
点検と適切な時期での取替推進
で**経年劣化事故**を抑制

従来：故障起点の取替

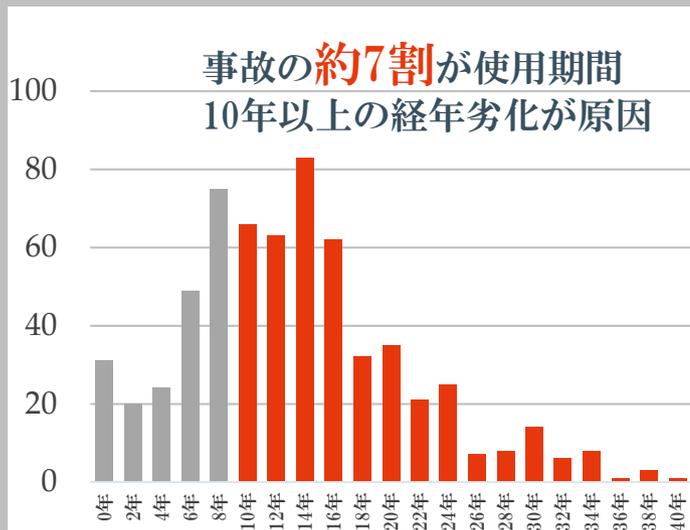


持続可能な目指す姿：

点検による安全・安心の提供と適切な時期での取替



製品の使用期間と事故発生件数



出典：NITE_平成29年10月プレスリリース資料より抜粋

業務用機器も「点検」による適切な取替を促進

Q+ESGに基づいた事業活動



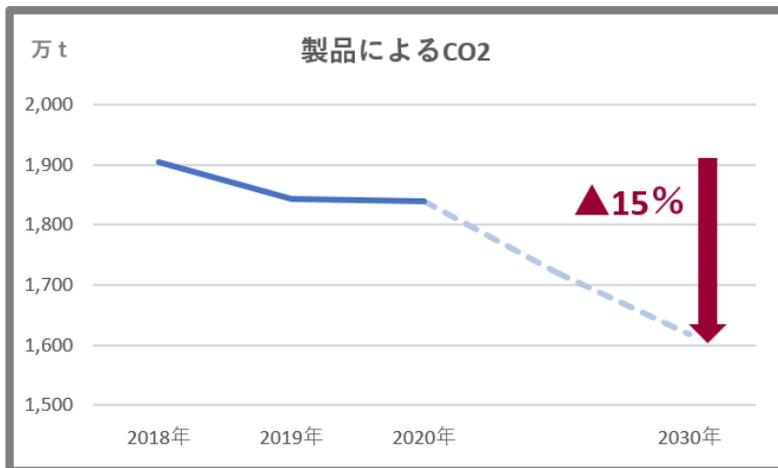
気候変動への対応

2009年～	2019～20年	2020年～	2020年～
エコ・ファースト認定 	CDP B評価 	TCFD賛同 	RE100加盟

〈製品のCO2削減目標〉

2030年までに15%削減 (2018年比)

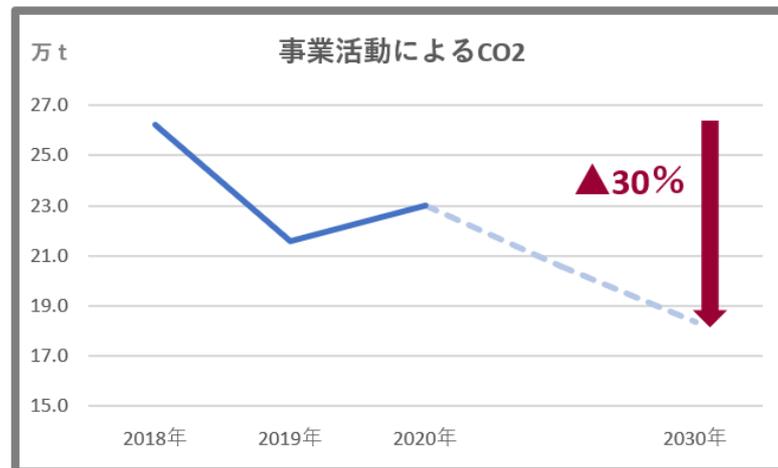
- 環境配慮商品の拡販
- 脱炭素に向けた技術開発



〈事業活動のCO2削減目標〉

2030年までに30%削減 (2018年比)

- RE100推進
- 再エネ電力への切替
- 省エネ設備導入 他



パリ協定と整合 (SBT相当)



従業員パフォーマンス向上に向けた取り組み

項目	実施事項
▶ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成（若手・女性の抜擢） ・メンバーシップ型からジョブ型（職責賃金）へ移行
▶ 組織への貢献意欲向上	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員へのRS導入（2020年12月実施済）によるオーナーシップ・株主目線醸成
▶ 働き方改革と健康経営	<ul style="list-style-type: none"> ・業務ツールデジタル化による働き方改革 ・心身ともに健康に働ける環境や制度の整備（健康経営優良法人2020ホワイト500認定）



Governance

コーポレートガバナンスへの対応

項目	目指す方向性
➤ 取締役会の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役スキルの多様性進化（意思決定の迅速化） ・取締役会の実効性外部評価導入（実効性の強化）
➤ 役員報酬	報酬構成の見直し（RS導入他）
➤ 資本効率	ROE 5%以上
➤ 政策保有株式	継続的な削減（自己資本に対する構成比を意識）